

Cモデル 事例1：話すこと[やり取り]・質疑応答

1 単元の目標

身近な話題（自分＋家族または友人）について、お互いに情報を共有し、必要な情報を質問しながらやり取りを続けることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自らのことを紹介する語彙や表現、言い回しを理解している。 ・他者のことを紹介する語彙や表現、言い回しを理解している。 ・必要な情報を相手から聞き出し、考えや気持ちなどを話し伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、教科書で得た知識をもとに論理構成や展開を工夫して話して伝え合っている。 ・相手の意見に応じて、同意や質問をして話して伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、教科書で得た知識をもとに論理構成や展開を工夫して話して伝えようとしている。 ・相手の意見に応じて、同意や質問をして話して伝え合おうとしている。

3 テストについて

(1) 場所

廊下又は別教室

(2) 内容

自己紹介と自分の家族・友人などについて伝え合おう

(3) 準備物

タブレット端末等の録画機器、タイマー、Google クラウドルームにおける評価ページ
Google Forms による振り返りシート

(4) 所要時間等

- ・一組（二人）当たり 3分
- ・1クラス（20）人当たり 1 単位時間（50 分）程度で実施

(5) 方法

〈事前の準備〉

- ・テストについて、生徒に以下の内容を伝えておく。
 - ※テストは二人一組で受けること。
 - ※教科書で学習した表現を活用すること。【資料1】
 - ※生徒は紹介する人物の写真等を見せること。
 - ※相手の意見に関し、必要に応じてメモを取ること。

〈テスト当日の流れ〉

- ・テストを実施する順番を Google Classroom で配信する。
- ・テストの採点基準や、必要な道具（端末やメモ帳）を改めて配信する。【資料2】

- ・テストを終了した生徒は、振り返りシートを Google Forms にて入力して教師に送信し、その後、次の単元に向けた事前学習を行うよう指示する。

〈採点〉

- ・教師はその場で Google Classroom 内において採点し、即時フィードバックを行う。
- ・テスト実施後、教師は振り返りシートを確認し、必要あればそのフィードバックも行う。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1：時制を適切に使用し、自己紹介と他己紹介を行っている。

条件2：相手の回答内容に応じ、基本的な疑問文の形を用いて、情報を得ようと質問をしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の表現を十分に理解し、活用できる。 ・時制を適切に使用し、基本的な疑問文を理解しやすい英語で話して伝えている。 	二つの条件を満たした上で、関連する情報などを加えながら、やり取りを続けている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報などを加えながら、やり取りを続けようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の表現を理解し、活用できる。 ・英語に多少の誤りはあるが、理解に支障がない程度に時制を意識し、疑問文を理解しやすい英語で話して伝えている。 	二つの条件を満たしてやり取りを続けている。	二つの条件を満たそうとしてやり取りを続けてようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

備考：

- ① 「知識・技能」の評価では、語彙や文法の誤りの数に基づいて評価するのではなく、コミュニケーションに与える影響の大きさを総合的に判断する。
- ② 「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の評価では、[指導する表現例]のみにこだわることなく、記載のない表現も評価の対象とする。相手の発言に十分に反応し、意見や質問を重ねられているかどうかを評価する。【資料3】

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標、評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（5時間程度の授業を想定）

- ・教科書本文を聞いたり読んだりして、基本的な疑問文（be 動詞、一般動詞、疑問詞の活用）を理解する。
- ・自己紹介と他己紹介がどれくらいできるかを動画で撮影し、生徒が自らの英語を確認する機会を与える。
- ・相手の会話から質問を考える活動を行う。
- ・教科書の文章や内容を活用し、自己・他己紹介の内容を作成する。

指導上の留意点

- ・翻訳ソフトを活用するかどうかは教科担当で事前に決めておく。
- ・家族に関してはプライバシーの観点から、友人や知人の紹介することも可能とする。
- ・最初は翻訳ソフトを活用せずに、自分で英文を作成させることで、自分の能力を把握させる。
- ・A L Tを活用し、言語活動の際に支援してもらおう。

5 フィードバック

振り返りシートを活用し、これまでの学習を振り返り、次の単元に向けた取組について確認させる。また、振り返りシートに対して教師がコメントを返信することで、生徒のモチベーションが高められると考えられる。【資料4】

【資料1】英会話で活用できる表現プリント（例）

自己紹介プリントと、相手に質問するときの表現プリントを以下に示します。これらのプリントを使って、自己紹介を行い、他の人とコミュニケーションを円滑にする練習をすることができます。

自己紹介プリント**

1. 自己紹介の基本**

- "Hello, my name is [Your Name]."
- "Nice to meet you."
- "I'm from [Your Country/City]."

2. 年齢と職業**

- "I'm [Age] years old."
- "I'm a high school student/teacher."
- "I work as a [Job Title]."

3. 趣味と関心事**

- "In my free time, I enjoy [Hobby]."
- "I'm interested in [Interest/Hobby]."
- "I'm a fan of [Favorite Activity/Band/Film]."

4. 家族とペット**

- "I have [Number] siblings."
- "I live with my parents and [Siblings/Pets]."
- "We have a [Type of Pet] at home."

5. 未来の目標**

- "My future goal is to [Future Goal]."
- "I hope for [Achievement] in the coming years."
- "I aspire to become a [Dream Occupation]."

相手に質問するときの表現プリント**

1. 質問の基本**

- "May I ask you a few questions?"
- "Could you tell me about yourself?"
- "Do you mind if I inquire about something?"

2. 人物に関する質問**

- "What's your name?"
- "Where are you from?"
- "What do you like to do in your free time?"

3. 趣味と関心事に関する質問**

- "What are your hobbies?"
- "What do you like to do in your free time?"
- "Is there something you're passionate about?"

4. 家族とペットに関する質問**

- "Do you have any siblings?"
- "Tell me about your family."
- "Do you have any pets?"

【資料2】 Google Classroom 活用 参考画像

①

パフォーマンステスト参考例

The screenshot shows a Google Classroom stream page. At the top, there are navigation tabs: 'ストリーム' (Stream), '授業' (Class), 'メンバー' (Members), and '採点' (Grading). The main content area has a blue header with the title 'パフォーマンステスト参考例' and a 'カスタマイズ' (Customize) button. Below the header, there are several widgets: a 'Meet' widget with a 'リンクを生成' (Generate link) button; a 'クラスコード' (Class code) widget showing 'myc5v4c'; a '期近隣' (Upcoming) widget with a 'すべて表示' (Show all) button; and a 'クラスへの連絡事項を入力' (Enter class announcements) widget. A notification card is also visible, stating '秋田泰さんが新しい課題を投稿しました: L1パフォーマンステスト' (Taketai Akiyama posted a new assignment: L1 Performance Test) with a date of 9月13日 and a due date of 10月6日.

②

The screenshot shows a Google Classroom assignment page. At the top, there are navigation tabs: '手順' (Steps) and '生徒の提出物' (Student submissions). The main content area has a blue header with the title 'L1パフォーマンステスト' and a '秋田泰' (Taketai Akiyama) profile picture. Below the header, there is a description of the assignment: 'パフォーマンステストを実施します。' (We will conduct a performance test.) and 'ルーブリックをテスト受験前にしっかりと確認しておいてください。テスト終了後は振り返りシートを記入し提出してください。' (Please confirm the rubric before the test. After the test is over, please fill out the reflection sheet and submit it.) A 'ルーブリック: 条件 3 個 • 333 ポイント' (Rubric: 3 conditions • 333 points) button is visible. Below the description, there is a 'クラスのコメント' (Class comments) section with a 'クラスのコメントを追加' (Add class comment) button.

③

自 課題
保存

タイトル
L1パフォーマンステスト

課題の詳細 (省略可)
パフォーマンステストを実施します。
ルーブリックをテスト受験前にしっかりと確認しておいてください。
テスト終了後は振り返りシートを記入し提出してください。

B *I* U ☰ ✎

添付


ドライブ


YouTube


作成


アップロード


リンク

対象
すべての生徒 ▼

点数
採点なし ▼

期限
期限なし ▼

トピック
Lesson 1 ▼

ルーブリック
ルーブリック: 条件 3 個・333 ポイ... ✕

適用 (独自性) を確認する
詳細

④

L1パフォーマンステスト

⋮
/333 ✕

知識・技能 /300 ⤴

発表の中身、教科書の中身が活かされているかを見ます

<p>A 300ポイント</p> <p>単元の表現を十分に理解し活用できる。時制を適切に使用し、基本的な疑問文を理解しやすい英文を用いて活用できる。</p>	<p>B 200ポイント</p> <p>誤りはあるが、理解に支障がない程度に時制を意識し、疑問文が使用できる。</p>	<p>C 100ポイント</p> <p>Bの基準を満たしていない。</p>
---	--	--

思考・判断・表現 /30 ⤴

レッスン内容に沿ったものになっているかどうか、やり取りができていっているかどうかを見ていきます。

<p>A 30ポイント</p> <p>二つの条件を満たした上で、重文、複文を活用し、より豊かな表現にしながら、やりとりを続けている。</p>	<p>B 20ポイント</p> <p>二つの条件を満たしてやりとりを続けている。</p>	<p>C 10ポイント</p> <p>Bの基準を満たしていない。</p>
---	---	---

主体的に学習に取り組む態度 /3 ⤴

授業中の取り組みや、発表における態度を見ていきます。

<p>A 3ポイント</p> <p>二つの条件を満たした上で、重文、複文を活用しより豊かな表現にしようとしやりとりを続けようとしている。</p>	<p>B 2ポイント</p> <p>二つの条件を満たそうとしてやりとりを続けている。</p>	<p>C 1ポイント</p> <p>Bの基準を満たすことができていない。</p>
---	---	---

?

【資料3】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法の誤りを含む

【例1】

St1: Hi!
 St2: Hello! What's your name?
 St1: I'm Tatsuki. You?
 St2: I'm Mike. Nice to meet you
 St1: Nice to meet you, too.
 St2: May I ask you a few questions?
 St1: Sure!
 St2: What sports do you like?
 St1: I like baseball. How about you?
 St2: I like bike riding. Do you belong to a baseball club?
 St1: No... Actually, I belong to a soccer club.
 St2: How long have you played soccer?
 St1: Ahmm... I have played soccer for about ten years now. Do you belong to any club?
 St2: Yes, I belong to a ski club. But during summer, in my free time, I enjoy riding my bike for fun.
 St1: Oh, that's nice.
 St2: Anyway, how many people are there in your family?
 St1: There are four people: my father, mother, my brother and me.
 This is my mother. She likes watching volleyball. She plays volleyball with her friends every week. She is a very active person.
 St2: Is she a professional player?
 St1: No, but she used to be a good player when she was a high school student.
 St2: Really, my father was a good player, too! He played baseball, though.
 St1: That's great. Did he go to Koshien?
 St2: No, he didn't. But his team went to the final of the regional tournament.
 St1: That's great! He must be a great player. What position did he play?
 St2: He played the catcher.
 Teacher: Time is up.
 St2: Okay, nice talking with you.
 St1: Nice talking with you, too.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
St1	a	a	a
St2	a	a	a

St1, St2 とともに、下線部に見られるように、単元で学んだ表現を会話の内容に応じて適切に使用し、基本的な疑問文を理解しやすい英語を使用して伝え合っている。また、相手の回答内容に応じ、基本的な疑問文の形を用いて、情報を得ようと質問をしている。どちらも二つの条件を満たした上で、関連する情報などを加えながらやり取りを続けていることなどから、すべての観点で「a」とした。

【例2】

St1: Hi!
 St2: Hello! What's your name?
 St1: I'm Tatsuki. You?
 St2: I'm Mike. Nice to meet you
 St1: Nice to meet you, too.
 St2: May I ask you a few questions?
 St1: Sure!

St2: What sports do you like?
 St1: I like baseball. How about you?
 St2: I like bike riding. Do you **belongs** to a baseball club?
 St1: No... Actually, I **belonging** to a soccer club.
 St2: How long **do you played** soccer?
 St1: I **play** soccer for about ten years now.
 St2: How many people are there in your family?
 St1: There are four people: my father, mother, my brother and me. This is my mother. She **watching** volleyball. She **play** volleyball ~~with her friends~~.
 St2: Is she a professional player?
 St1: No, but she was a good player.
 St2: Really, my father was a good player, too! He **play** baseball, though.
 St1: That's great. **Do** he go to Koshien?
 St2: No, he couldn't. But his team went to the final of the regional tournament.
 Teacher: Time is up.
 St2: Okay, nice talking with you.
 St1: Nice talking with you, too.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
St1	b	b	b
St2	b	b	b

St1, St2 とともに、下線部に見られるように、英語に多少の誤りはあるものの、お互いの会話内容の理解に支障を及ぼすほどではなく、基本的な疑問文を理解しやすい英語を用いて使用することができる。また、相手の回答内容に応じ、基本的な疑問文の形を用いて、相手から情報を得ようと質問をしている。どちらも条件1及び条件2を満たしたやり取りを続けていることなどから、すべての観点で「b」とした。

【例3】

St1: Hi!
 St2: Hello! What's your name?
 St1: I'm Tatsuki. You?
 St2: I'm Mike. Nice to meet you
 St1: Nice to meet you, too.
 St2: May I ask you a few questions?
 St1: Sure!
 St2: **What sports?**
 St1: Baseball, **Watch baseball**. You?
 St2: **Bike, Bike, Riding, You club baseball?**
 St1: Baseball? No...soccer.
 St2: **? Long?**
 St1: Ahmm... **ten years.**
 St2: **Family number?**
 St1: ? I don't know.
 Teacher: Time is up.
 St2: Okay, nice talking with you.
 St1: Nice talking with you, too.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
St1	c	c	c

St2	c	c	c
-----	---	---	---

St1, St2 ともに、下線部に見られるように、適切に英語を活用しておらず、会話内容の理解に欠けており、やり取りに支障を生じている。また、相手の回答内容に応じ、基本的な疑問文の形を用いずに、情報を得ようと質問しているため、2名とも条件1及び条件2を満たしていないやり取りを続けていると判断し、すべての観点で「c」とした。

Hokkaido パフォーマンステスト 参考資料

今日のパフォーマンステストの振り返りです。必ず入力して下さい。
パフォーマンステスト評価のときの条件は以下のとおりです


トピック
自分のこと、自分の家族について、相手に伝え、やりとりすることができる。


採点基準
(1)
(2)
(3)

- ・知識・技能
- ・思考・判断・表現
- ・主体的に授業に取り組む態度

が含まれていればA評価となっていきます。

※自己評価・教科担任評価のどちらかで「C」が付いたら、評価が「1」になる可能性があります。フィードバックを参考にして次回のテストへ向け学習を改善してください。また、Google Form に入力しない場合、主体的に学習に取り組む態度は「C」評価となります。

757375@hokkaido-c.ed.jp アカウントを切り替える 

 共有なし

*** 必須の質問です**

クラスを教えてください。 *

A

B

出席番号を教えてください。 *

名前を入力して下さい。 *

①知識・技能について*

- A：教科書の内容を活用し、語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英語で会話ができる、かつしてほしいことなどを伝えることができた
- B：誤りはあるが、理解に支障のない程度の英語で会話ができる
- C：Bの基準を満たしていない。

②思考・判断・表現について*

- A：到達目標の条件を満たし、授業内のペアワークや言語活動において積極的に英語で会話、やりとりできた
- B：与えられたトピックや尋ねられた質問に対して、どのようなことを答えればよいか判断し、適切に表現している。
- C：Bの基準を満たしていない。

③主体的に授業に取り組む態度について*

- A：到達目標の条件を満たそうとし、授業内におけるペアワーク及び言語活動で積極的に英語で会話、やりとりをしようとしている
- B：準備の段階から、授業で学んだ表現を積極的に取り入れ、表現しようとしている。
- C：Bの基準を満たすことができていない。

今回のパフォーマンステストに取り組む上で意識したことやもっとこうすればよかったと思う点は何ですか。

回答を入力

次回のパフォーマンステストは決められたトピックに対し自分の意見を表現し、*相手と結論を導き出す「スピーキングテスト（やり取り）」です。次回のテストに向けて、授業の内外でどのようなことに取り組めますか。

回答を入力